

平成 30 年度

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年3月11日

事業所名:藤森センターにっこひるば

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	フロアが狭い為、建屋としてスペースを共有している天気がいい日は外に出ている。	建屋で密に連携を図る。
	2 職員の配置数は適切であるか	○		基準には満たせているか適し方によって目が行き届かない場合があるため都度連携を図る	パート・アルバイトを増やし対応していく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		トイレのスペースが不十分の為、建屋内で共有して	今後も建屋で共有していく。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員間では一定取れている。	アルバイト・パート職員にも呼びかけを行っていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートを実施し把握した上で、改善にむけてその都度、話し合っている。	今後も継続していく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公開している。	今後も継続していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	外部評価はうけていない。わからないことは、京都市に確認し対応している。	それらの情報を随時共有する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		可能な限り参加出来ている。	研修を知り参加出来るように実行する。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		懇談等を設け聞き取りをし、計画作成につなげている。	今後も定期的に情報を共有し職員間でも話し合いを行う。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたものではない。独自の物を使用している。	関係機関のツールも参考にしながらより充実したツールに改善していく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎日話し合い決めている。役割分担をしている。	役割分担をし、活動内容については共有、話し合い進めている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		土曜日、長期休暇に企画を考えて取り組んでいる。	平日もプログラム活動を多く取り入れていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		話し合い設定して過ごしている。	今後も継続していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		組み合わせで作成している。	今後も学校、家族と連携を図る。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		その日の流れを話し合うようにしている。全体で共有できるようノートなどに記載している。	可能な限り話し合う。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了時や翌日に振り返りを行っている。	翌日にも必ず共有し、状況を共有して支援に繋げていく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		可能な限り行っている。	複数の職員が記録していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		職員間や保護者さんへの説明も含め分担出来ている。毎月ケース会議を行い共有している。	今後も継続していく。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか		○	様々な活動を取り入れる。	複数組み合わせ支援できるように今後検討していく。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当職員が参加している。	担当職員以外の職員も可能な限り参加していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		その都度確認している。	継続して行っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		服薬、装具などの説明は保護者から聞いている。	受け入れていないが研修などに参加して勉強していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保育園、療育センターなどに訪問している。	訪問した職員が職員全員にその子の過ごしや様子を周知できるようにする。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			まだ事例はないが状況に応じて提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		様々な研修に参加している。	参加できていない職員にも研修内容を伝達して、事業所の支援の充実に繋げていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	公園で地域の子と遊ぶなどをしている。	今後、児童館と交流する機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		可能な限り参加している。	継続して参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時や年に二回の個人懇談など限られた時間の中ではあるが、お話をさせてもらっている。	少しでも話合いの場を増やしていけるようにする。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		相談をうけた場合は個別に対応している。	研修などで対応力の向上に向けて努める。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に一緒に読み上げて確認をしている。	管理者以外の職員も対応出来るようにしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談を受けた場合は個別に対応している。	個々での対応になるが、対応した職員は、共有出来るよう報告していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		学習会や、参加型イベントを企画している。	年間行事として計画的に実施していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		その日のうちに対応している。	職員間で共有し、保護者へ対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		イベント参加者以外にもイベントなどの活動写真を発信している。	今後も継続して伝えていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		書類等は、場所を決めて保管している。	必要であれば随時対応していき、保管方法についても気をつけていく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		写真やサインを用いて個別に対応している。	継続して行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		建屋を地域行事のために貸し出している。	建屋として今後も検討していく。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		日々新しい情報を入れ、作成している。	作成しているが、周知できていない。目に見えるように整えていく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間行事に入れている。	利用者にも参加してもらう機会を増やしていく。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		府や市の研修に参加し、その後法人内研修にも必要であれば参加している。	継続して参加していく。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	計画に記載はしていない。計画に記載する内容までではないと判断している。	対応することがあれば計画書などに記載していく。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示書はもらっていないが、保護者から伝言してもらって確認できている。	保護者と共有し、必要であれば提出を依頼する。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		なぜ起きたのか原因を究明し、次が起らないように意識している。	定期的に見直し周知できるようにする。

平成 29 年度

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		<input type="radio"/>		指定基準に満たしているが十分に体を動かせるスペースがないため天気の良い日は公園にでかけている。
	②	職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>		配置は満たしているが、時間帯によって満たせていない時もある。よりよい支援をするためにはアルバイトやボランティアも含めた体制の充実を図る。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		<input type="radio"/>		建屋内でのトイレを活用している。玄関が狭くて時間帯により混雑するため他サービスとの連携を図る。エレベーターのスペースが不十分のため利用者が限定されてしまう。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		出来ていることもあるが、改善すべき点もあるため、職員会議等を定期的に行い常勤以外の職員にも参加をしてもらい話し合う機会を作る。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		意向は聞いているが改善すべき点が多くある。意向に答えられていないので、今後も意向に答えられるよう努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		第三者評価は受けていません。市からの監査が入り指摘評価を受けて改善していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		研修にいった結果を振り返り、職員間で共有し支援につなげていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		計画は作成しているがアセスメントに不十分なところもあるため、今後は関係機関との連携をより深め計画作成に活かす。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		事業所独自のものを使用している。一般的に使用されているものではないため、関係機関のツールも参考にしながらより充実したツールに改善していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		<input type="radio"/>		初めから担当を分担しているが、一定の立案に対してチームで行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		<input type="radio"/>		その日の状況に合わせて臨機応変な対応をしているが今後、計画的にプログラムを工夫していく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		<input type="radio"/>		出来ていることが不十分ではない。土曜日長期休暇は一定のプログラムを作成している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		<input type="radio"/>		個別活動・集団活動でも目標設定はしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		<input type="radio"/>		時差出勤の為、連絡ノート等を用いて共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		<input type="radio"/>		時差出勤の為、全員で現状の体制では難しいが、個々の職員や翌日に振り返りが出来ている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		<input type="radio"/>		記録は出来ているが、検証・改善につなぎきれいていないため、つなげていけるよう職員間で努める。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○	複数組み合わせるという点で出来ている時と出来ない時があるため、今後プログラムを見直していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	担当者が出来るだけ参加しているが、最も相応しいかは判断し兼ねる。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	デイ側の情報も適時伝えていない内容もある。今後、学校や関係機関にも情報提供ができるよう取り組んでいく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケアの必要な子がいない。地域の病院等の連絡先を把握する等出来ている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	個別に出来ている場合と出来ていない場合がある。今後は新規利用の方より療育先や保育園などの情報共有を図り、連携を深めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○	今までに移行した対象者がいないが、福祉サービス事業所がどのような情報が必要かを共有、情報収集を行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	支援センターが開催している研修には参加出来ている。今後も連携しよりよい支援につなげていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	団体での交流はできていない。地域の公園などで一緒に遊ぶことはある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○	できるだけ参加しているが、予定が合わずに参加できなかった時もある。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	送迎の時では足りない。定期的に行っている個別懇談等も含め、もっと機会を作っていきたい。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	支援者側が出来ているか判断がし兼ねる。今後、法人内や外部の講演会等も保護者に発信していく。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	決まった職員が対応しているため、全職員が対応できていない。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	出来る範囲で行っているが、対応力の課題がある。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	イベントを通して、一部保護者同志が顔を合わせることはできたが、今後は保護者同志の連携を目的とした、きっかけ作りをしていきたい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		<input type="radio"/>		出来ているが、どこまでを良いとするか判断しかねる。今後も適切に対応できるよう努める。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>				
	③⑤	個人情報に十分注意しているか		<input type="radio"/>		鍵付きの保管庫に入れているが常時鍵がかかっているわけではない。危機管理は弱い。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		<input type="radio"/>		マカトンサインや写真カードなどを使用している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			<input type="radio"/>	地域にはできていないが、新規希望者にお誘いし一緒に過ごすとはできている。今後、地域の方とも交流を図れるよう努める。	
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		<input type="radio"/>		見直し製作中にて周知まではできていない。完成し次第、伝えていく。
		③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		<input type="radio"/>		子どものいる時間にできていない。子どもたちが慣れるよう事前準備から始める必要があるため内容の検討をし実行につなげていく。
④①		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		<input type="radio"/>		行政主催や法人主催等の研修に参加している。意識の共有・対応について職員間で定期的な機会を設けていく。	
④②		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		<input type="radio"/>		今までに対象者がいないが、想定される対象者があれば、職員間だけでなく、組織的にも検討していく。	
④③		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			<input type="radio"/>	医師の指示書まで貰っていない。保護者に確認し提供しないように対応させてもらっている。	
④④		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		<input type="radio"/>		過去のを事例集にしている。事例によって共有している場合と出来ていない場合がある。今後も事故に繋がらないよう努めていく。	